

z e i t

L I C H T E



「光ではかられた時 - 球 -」 撮影：黒川未来男

渡辺好明遺作展 | 光ではかられた時

東京藝術大学大学美術館陳列館

2012年12月7日 | 金 | - 12月24日 | 月・祝 |

開館時間: 10:00 - 17:00 [入館は16:30まで] 休館日: 月曜日 [12月24日は開館] 入場無料

お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

ホームページ: <http://www.geidai.ac.jp/museum/>

□主催: 渡辺好明遺作展実行委員会

□助成: **NOMURA 野村財団**  EU・ジャパンフェスト日本委員会  藝大フレンズ賛助金 宮田亮平学長学術研究基金

□協力: A trans Pavilion Berlin

渡辺好明遺作展 | 光ではかられた時

渡辺好明先生は、1980年に東京藝術大学美術学部絵画科油画を卒業後、大学院美術研究科壁画研究室に学ばれた後、1985年からデュッセルドルフ美術アカデミーでさらなる研鑽を積まれました。コンテンポラリーアートの作家でありながら、伝統的な西洋絵画技法である壁画を学び、ドイツ哲学にも造詣が深かった渡辺先生は、感性と知性と理性のバランスを保ちながら、コンクリート、石、アクリル、ガラス、ポリエステル樹脂、パラフィンワックスなどを素材とする、内省的な独特のスタイルを発展させていきました。

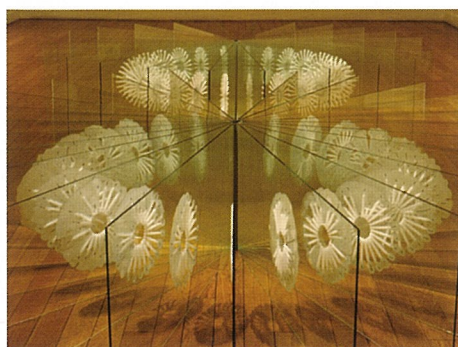
帰国後の1989年には母校の教員に就任されて後進の指導にあたる一方で、蝋燭を燃焼させる作品「光ではかられた時」(1991年)で、ひとりの作家としての完成された世界に到達いたしました。幾何学的な定理に基づいて配列された蝋燭の焰と灯りが、時間という概

念の中の森羅万象を抽象化したような時空間を現出して、見る人を沈思黙考の世界へと誘い込む、哲学的・宗教的ともいえる作品です。

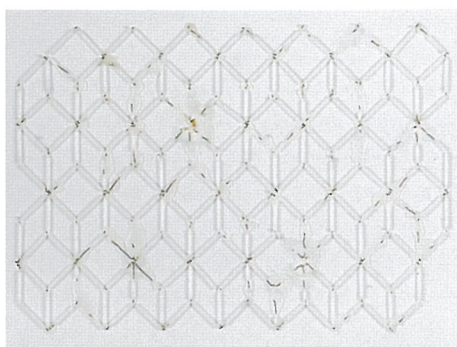
その一方で渡辺先生は、先端芸術表現科の創立(1999年)に尽力され、東京藝術大学取手校地の充実発展のために献身的な努力をされ、取手市民とのコラボレーション「取手アートプロジェクト」を立ち上げるなど、静謐な作品からは思いもよらないほどの行動力と組織力に充ちた方でしたが、2009年11月4日、いつも通りに授業を終えて帰宅された夜に急逝されました。今も健在であれば、その芸術はさらなる展開を遂げたであろうと想うと残念でなりません。

星辰は巡って3年、渡辺先生の芸術と人柄を慕う私たち一同は、このささやかな遺作展を先生の霊に捧げさせていただきます。

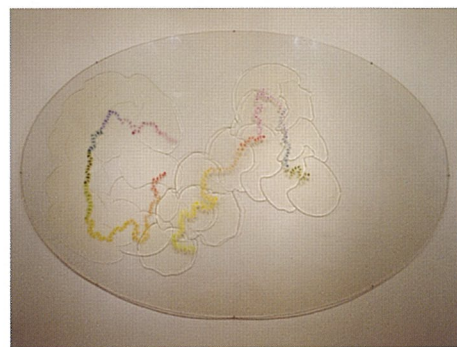
渡辺好明遺作展実行委員会



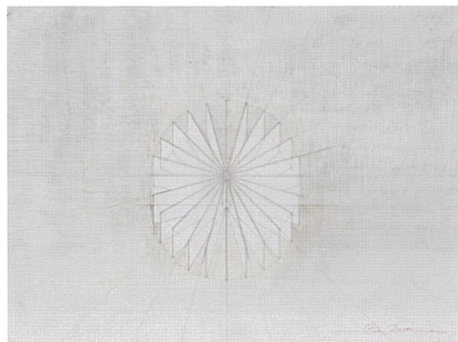
No. 01



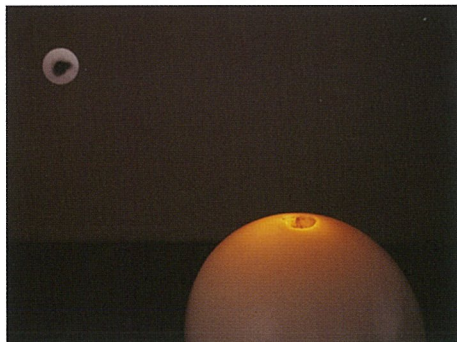
No. 02



No. 03



No. 04



No. 05

- No. 01 「光ではかられた時 - トーラス -」
ガラス、蝋燭 / 1980 / 撮影:内田芳考
- No. 02 「光ではかられた時」
ガラス、蝋燭 / 2000 / 撮影:内田芳考
- No. 03 「時の刻印」
アクリル、ガラス、エポキシ樹脂に油彩 / 1996
撮影:東京藝術大学写真センター
- No. 04 「ドローイング」
トレーシングペーパー、鉛筆 / 2003
撮影:東京藝術大学写真センター
- No. 05 「光ではかられた時 - 球 -」
蝋燭、鏡 / 1996 / 撮影:渡辺好明

東京藝術大学大学美術館陳列館
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通案内

JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、京成電鉄京成上野駅から徒歩15分
駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

